

第3章

ビジョンの基本的な考え方

- 1 基本目標
- 2 基本目標を達成するための3つの柱
- 3 3つの柱を具現化するための5つの基本方針

1 基本目標

『元気あふれるモノづくりのまち 富士』

市民がいいきいと豊かな生活を送り、明るいまちづくりを進めるためには、活発な産業経済活動が必要であるという基本的な考えのもと、基本目標を『元気あふれるモノづくりのまち 富士』と定め、本市のモノづくり産業が、再び元気を取り戻す環境整備に取り組み推進していく。

2 基本目標を達成するための3つの柱

基本目標を達成するため、具体的に目指すべき3つの柱を次のとおりとする。

(1) 『Vitality up』(バイタリティー・アップ)

～ 旺盛な起業・創業や企業誘致による『活力』アップ～

(2) 『Version up』(バージョン・アップ)

～ 多様な産業集積へ個性派企業を目指した『企業力』アップ～

(3) 『Value up』(バリュー・アップ)

～ 産業集積が進む工業都市としての『価値』アップ～

(1) 『Vitality up』(バイタリティー・アップ)

～ 旺盛な起業・創業や企業誘致による『活力』アップ～

近年、経済のグローバル化に伴うモノづくり産業の空洞化を背景に、工業事業者の生産規模縮小や事業撤退の動きが加速しつつある。また、主要産業であるパルプ・紙産業においても成熟化が進み、本市の工業事業所数の減少傾向に歯止めがかからない状況にある。

こうした状況を克服するためには、新たな事業に果敢に挑戦する起業家や創業者を数多く輩出していくとともに、成長が期待される分野を中心に、新たな企業を呼び込むことで、新産業を創出・育成する必要がある。市内外からのこうした動きが旺盛かつ不断に行われていくことで、本市のモノづくり産業の活性化を促し、新たな『活力』を与える。

(2) 『Version up』(バージョン・アップ)

～多様な産業集積へ個性派企業を目指した『企業力』アップ～

ヒト、モノ、カネ、情報、技術などで国境を越えた交流が進展する中、本市の産業はパルプ・紙を中心として産業の成熟化が進み、海外の低価格品や国内の同業他社等との競争が厳しさを増している。また、こうした国際競争に加え、環境問題への対応やコストダウン要請、高品質・高機能化など、さまざまな経営課題に直面している。

この厳しい競争環境を生き残るためには、生産性の向上や技術の高度化、製品の高付加価値化に取り組み、低い労働コストを強みとした海外製品との差別化を図るとともに、積極的に経営革新や第二創業に取り組む必要がある。例えば、本市のパルプ・紙や機械工業などの企業では、これまで環境問題に積極的に対応してきたことで、蓄積したノウハウやエンジニアリング技術を活かして新たな事業分野を切り開くなどのビジネス展開が考えられる。すなわち、各企業が活発な企画提案や研究開発等によって付加価値を創造していく個性派企業への転換を図り、世界を相手にした競争に打ち勝つ『企業力』を養い、産業集積の高度化と活性化を図ることが求められる。

(3) 『Value up』(バリュー・アップ)

～産業集積が進む工業都市としての『価値』アップ～

本市は、豊富な地下水や豊かな自然に恵まれ、東京・名古屋という大都市圏の中間地点に位置し、東海道新幹線新富士駅や東名高速道路富士インターチェンジ、田子の浦港等の交通インフラが充実しているなど、立地面の高いポテンシャルを有している。このため、これまでは積極的に企業誘致を行わなくても、市外から多くの企業が進出してきた。

しかし、企業の投資マインドの冷え込みと低コストを求めた生産機能の海外シフトを背景に、平成元年以降、国内の工場立地件数は減少傾向が続いている。一方で、地域経済の活性化を目的に、全国の自治体が企業誘致に本腰を入れ始めており、企業誘致の地域間競争が激しさを増し、本市における企業立地件数は伸び悩みをみせている。

こうした状況を打破するためには、すでに本市が取り組みはじめたように、「富士市企業立地促進条例」の制定や「富士市工業団地整備計画」の策定など、企業が事業活動しやすい環境を一段と整備し、本市に立地することの『価値』を高める必要がある。また、内外における先端的な情報がより多く集まる仕組みづくりを都市機能の中に内在化させていくことが必要である。そして、こうした取り組みを通じて、起業・創業や企業誘致による新たな産業の集積や、各企業による経営革新等を通じた地域産業の高度化、創造性や挑戦意欲に溢れた人材の活発な交流など、本市工業全体の活性化につながる環境が整備された都市となることによって、集積内に立地する『価値』が自然と高まり、さらなる集積が進む好循環のメカニズムを持つ工業都市となることが重要なポイントとなる。

3 3つの柱を具現化するための5つの基本方針

3つの柱を具現化するため、次に掲げる5つの基本方針に基づき取り組んでいく。

(1)『Challenge』(チャレンジ 挑戦)

～挑戦意欲ある人材の確保・育成～

(2)『Creation』(クリエーション 創造)

～産業・企業の高度化・高付加価値化の推進～

(3)『Collaboration』(コラボレーション 連携)

～多様なネットワークの構築～

(4)『Charm』(チャーム 魅力)

～企業の立地意欲が高まる環境の整備～

(5)『Support』(サポート 支援)

～工業振興推進体制の確立～

(1)『Challenge』(チャレンジ 挑戦)

～挑戦意欲ある人材の確保・育成～

チャレンジ精神や意欲のある人材の育成に努めることで、新産業の創出を担う起業家やモノづくりを支える若者を輩出するとともに、優秀な人材の就業・定着を促進する。

(2)『Creation』(クリエーション 創造)

～産業・企業の高度化・高付加価値化の推進～

新製品の開発や経営革新等の促進、新産業の創出などを促進することで、市内企業における経営の高度化や高付加価値化を進めるとともに、これら新事業等を軌道に乗せるための販路の開拓を支援する。

(3) 『Collaboration』(コラボレーション 連携)

～多様なネットワークの構築～

異業種交流会や産学官交流会などを幅広く開催し、イノベーション²¹のきっかけとなる交流機会の充実を図るとともに、研究機関や支援機関等とのネットワークの構築に努め、相互理解と相互利用を促進する。

(4) 『Charm』(チャーム 魅力)

～企業の立地意欲が高まる環境の整備～

工業団地の整備や立地優遇制度の充実、地震などの大規模災害発生に伴うリスク軽減や環境保全への取り組みに対する支援などにより、企業が立地したくなる環境を整備する。

(5) 『Support』(サポート 支援)

～工業振興推進体制の確立～

本市の工業振興に向けて、『挑戦』『創造』『連携』『魅力』に掲げた内容を効率的かつ効果的に推進する体制を確立する。